

□議員名：中岡 英二

1 高齢者バス優待乗車証の導入について

論点	市内のどこまで行っても１００円でバスを利用できる高齢者バス優待乗車証の実現はあるか。
回答	高齢者に対して、本市においてどのような支援が必要であるのか、他の介護サービスや高齢福祉サービスも含めた高齢者福祉施策全体の中での優先度や実施に要する予算とその財源等を考慮し更なる研究が必要である。

論点	高齢者福祉サービスの優先順位とは、どのような基準で決めていくのか。
回答	市民からの要望、また高齢福祉課では日々の業務での相談、訪問活動での見聞き、ケアマネージャー等のサービス事業所等からの情報収集から高齢者ニーズを把握し、その緊急性や財源等を考慮し優先順位を検討する。

論点	市民の要望である１００円バス導入やバス運賃を安くしてほしいという市民の声を反映してはどうか。
回答	限られた財源の中で、事業の優先順位を検討する際、市民の要望だけでなく必要性、緊急性や財源等を考慮しながら考えている。

2 本市の公共交通の課題解決について

論点	将来増えると予想される山口東京理科大生へのＪＲ利用促進の施策はあるのか。
回答	理科大生からのニーズを踏まえ、ＪＲ小野田線の２１時半頃の増便を要望している。団体にＪＲ小野田線を利用した場合に乗車運賃の５０％を補助しているが、学生団体利用も対象となるよう制度改正を行っている。

論点	バス停の整備、車両のバリアフリー化を計画的に進めているか。
回答	バス路線においては、事業者がバス停を設置され、バス停の管理整

	備をされている。市からも事業者に対してバス停の整備に係る要望を行っている。
--	---------------------------------------

論点	まちづくりや沿線自治体、事業者間で連携した幹線サービスの維持と、より一層の利用促進の取組は進んでいるのか。
回答	J R 小野田線活性化委員会では、公共交通利用者の利便性向上に繋がる鉄道とバスの共通乗車制度実証事業の実施に向けて鉄道、バスの交通事業者、行政機関との関係者で協議を進めている。